



おめでとう

**大橋新平さんに
危険業務従事者叙勲**



▲大橋さん

市民の安全・安心を守る
仕事に尽くしてきた人に贈
られる危険業務従事者叙
勲。元兵庫県警視の大橋
新平さん(市)に瑞宝双光
章が贈られました。

神戸で育った大橋さん
は、昭和二十六年から
三十五年半にわたる警察官生
活の大半を淡路島で勤務
し、犯罪捜査や交通事故防
止に尽力されました。現在
も少年補導活動を続けられ
ています。



▲仲尾くん

**仲尾和也くんが重量挙げ
で全国高校大会準優勝**

長崎県諫早市で開催され

た、全国高校ウエイトリフ
ティング競技選抜大会で仲
尾和也君(阿那賀)が準優
勝しました。
仲尾君は、九十四キロ級
に出場し、ジャーク、スナッ
チ、両種目のトータルの三
種目のいずれも準優勝しま
した。

**南淡南部土地改良区が
金賞を受賞**

全国土地改良功労者表彰
が三月二十八日、日本青年
館で開催され、南淡南部土
地改良区(森統一理事長、
五百戸)が金賞表彰優良土
地改良区を受賞しました。
同改良区は昭和三十八年に
設立され、排水機場の新設
と排水路の改修、本庄川ダ
ム及びかんがい施設の維持
管理を行っています。

**宮ヶ谷池・釜池の管理
者に優良ため池表彰**

県土地改良事業団体連合
会総会が三月二十二日開催
され席上、優良ため池管理
者として、島田賢総代(神
代・宮ヶ谷池)と馬野正義
自治会長(志知・釜池)に
知事感謝と同連合会長表彰
が贈られました。

ため池を集落の憩いの場に

老朽化に伴う改修工事とた
め池利用施設の整備を終えた



▲コイを放流する子どもたち

複列上幡多の西ノ池

農業用ため池「西ノ池」(複
列上幡多)で三月二十五日、
完成式が行われました。

改修工事は、平成十三年度
から洲本土土地改良事務所によ
り張ブロックや洪水吐、樋管
などの工事を行いました。ま
た、ほ場整備などで景觀に配
慮した整備が進められていた
ことから、ため池の周囲には
遊歩道と転落防止柵を設置、
池には東屋と棧橋を設けまし
た。

この日は、地元上幡多地区

住民らでつくる「ため池保全
隊」の四十人が堤防の草刈や
ツツジ五十本を植栽し、子ど
もたちも棧橋からコイの稚魚
百三十匹を放流しました。

同保全隊の西條秀男会長は
「農業目的だけでなく、地元
の人が憩え、交流できる場所
として活用したい。夏には花
火大会なども計画したい」と
抱負を語ってくれました。

同池は、総貯水量六千九百
立方メートル、堤防の長さ二百五
十メートル、高さ三・六メートル、総事業費
一億二千三百八十万円。上
幡多地域の農地十八・四ヘク
タールを潤します。

南あわじ市商工会が誕生

開所式で団結を誓う

四月一日、緑町・西淡町・
三原町・南淡町商工会が合併
し、南あわじ市商工会(藤江
昭治会長、会員二千二百一十
業所)が発足。本所(旧三原
町商工会館)では開所式が行
われ、関係者約五十人が出席
し、誕生を祝いました。

藤江会長からは、「役員・
職員が一丸となって、地域と
会員に貢献できる商工会を目
指していきたい」とあい
さつ。その後、旧四町商工会
長らが「南あわじ市商工会と
書かれた看板を入口に取り
付けました。



▲商工会本所に看板掲げる藤江会長(右から2人目)ら

桜と新能を堪能

桜が満開の田中正平博士記
念野外音楽堂(賀集八幡)で
「南あわじ市古典の夕べ」が



▲満開の桜の中での琴演奏

四月八日開催され、五百人が
満開の夜桜を背景に幽玄の世
界を堪能しました。

昼間には商工会女性部によ
る茶店、賀集公民館茶道教室
による野点や南淡琴同好会の
琴演奏が行われ、優雅な雰囲気
を盛り上げました。

夕方からは、公民館講座生
による民舞、祭礼団などによ
るだんじり唄、阿波踊りが披
露されました。続いて、能楽
協会神戸支部と湊小学校新入
生による「能」や「狂言」「仕
舞」が上演されました。

南あわじ市古典の夕べ

諭鶴羽山麓に交流の花が咲く

ゆづるは山麓のついで

諭鶴羽山麓の自然と古き良
き日本の伝統芸能を親しみ、
参加者の交流を深めてもらお
うと四月二日、賀集長原集落
の有志(野川健治郎代表)が
「第2回ゆづるは山麓のついで
」を開催しました。

阪神間から約五十人と地元
から約百十人が参加し、お花
見やダム周辺の散策などで交
流を深めました。
午後から行われた芸能発表

では、人間国宝・鶴澤友路師
匠らによる浄瑠璃や桂三ノ
助さんによる落語、サンシャ
イン合唱団と参加者による合
唱などにより、終始和やかな
ムードに包まれました。
また、のじぎく兵庫国体・
相撲競技が南あわじ市で行わ
れることにちなみ、神戸相撲
甚句会による「相撲甚句」の
発表も行われ、参加者は哀愁
とユーモアの交えた歌に聞き



▲「故郷」や「四季の歌」などの名曲を参加者全員で合唱



▲かがり火がともされた舞台上披露され幽玄な新能の舞

この行事は、平成八年から
一昨年まで「なんだん古典の
夕べ」として開催されていま
した。これを市が引き継ぎ、
商工会、文化団体連絡協議会
などによる南あわじ市古典の
夕べ実行委員会を結成、県芸
術文化協会などの協力により
開催されました。

入っていました。

全国へ瓦のまちをPR

文化体育館入口に 淡路瓦看板が完成

3月21日、文化体育館の入口に高さ2.5m、幅5.0m、淡路瓦
600枚を張りつけた看板が完成しました。これは、南淡町商工会(北
川富嗣会長)と南淡ライオンズクラブ(滝川昌弘会長)が市に寄贈し
たもので、市商工会合併と南淡町商工会設立45周年、南淡ライオン
ズクラブ38・39期の記念事業として、淡路瓦工業組合の協力を受け、
建立されました。看板は、10月に兵庫国体相撲競技会場となる場所で、
「瓦のまち」を全国にPRしようと考えられたものです。



▲3月21日、竣工除幕式が行われ完成を祝いました

新1年生へ防犯ブザー

西淡LC・南淡LC が寄贈

市内の17小学校で4月10日、入学式が行われ、新1
年生468人全員に防犯ブザーが配られました。
ブザーの大半は、西淡ライオンズクラブ(LC)と南淡
LCから寄贈を受けました。寄贈は昨年に続き2回目。
この日、賀集小学校で贈呈式があり、南淡LC第2副会
長の北川雅佳さんから新1年生にブザーが手渡されまし
た。



▲ブザーの贈呈式(賀集小学校)